

安全に強い人財を育成し、  
「止める、呼ぶ、待つ」で安全最優先意識の定着へ  
～「見える」安全化の取り組み②危険体感教育～

## 【設置機種】

- ① ローラー巻き込まれ擬似体験装置
- ② 墜落・飛来・落下擬似体験装置
- ③ 安全帯ぶら下がり体験装置
- ④ 感電体験装置
- ⑤ 回転体巻き込まれ擬似体験装置
- ⑥ チェンブロック手指挟まれ擬似体験装置
- ⑦ ベルトコンベア巻き込まれ擬似体験装置



ローラー巻き込まれ擬似体験装置では擬似手での巻き込まれ体感とロープスイッチでの緊急停止を訓練します。



2kgのおもりを



2mの高さから



アクリル管に通し、その下のヘルメットに落とします！



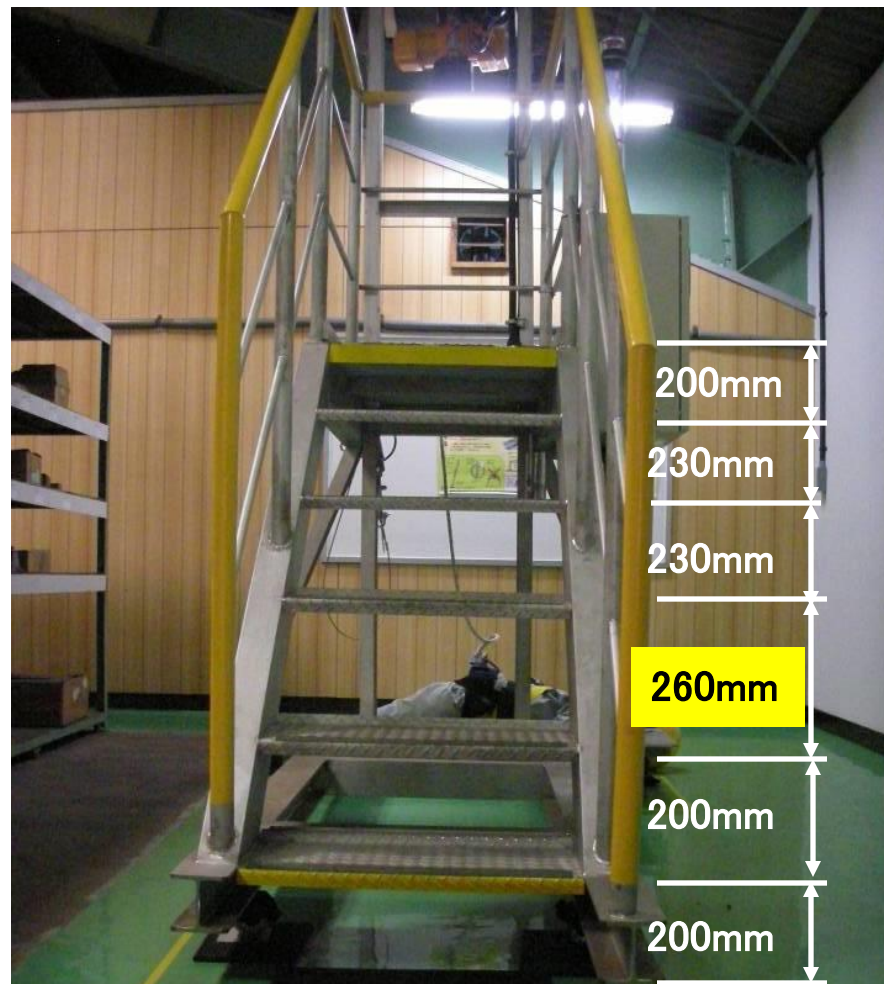
「ガンッ！」と鈍い音が…  
頭に直接当たったら…

飛来擬似体験装置では、ヘルメットにおもりを落として落下の様子や衝撃音を感じて、ヘルメットの必要性を学びます



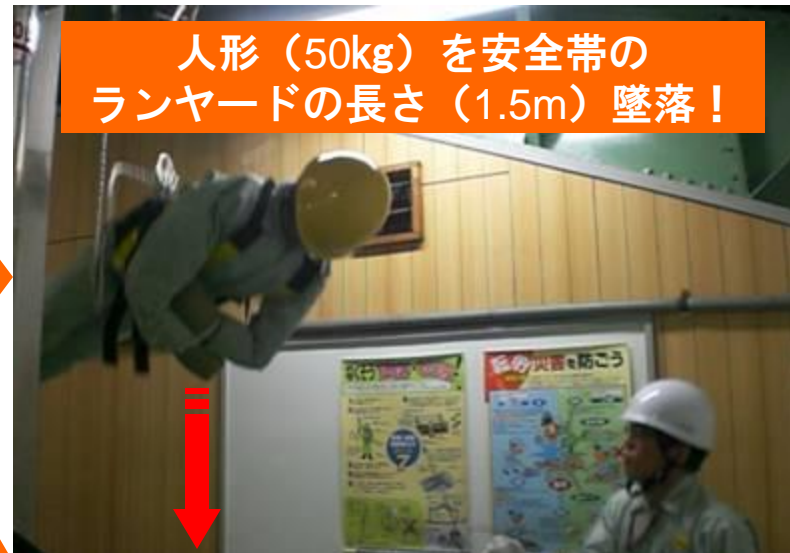


階段を昇って、降りる。  
昇る途中、爪先が引っかかるぞ？



実は途中の踏み板の間隔が  
広いのです！

転倒擬似体験装置では、踏み板の間隔が違う階段で  
躓き体験をして、手摺りを持つことの重要性を学びます。



墜落擬似体験装置では、人形を安全帯ランヤードの長さ墜落させ最大荷重を計測し、受講者に見せます。





安全帯ぶら下がり体験装置では、実際に宙吊り状態を体験。  
転落防止措置の必要性を受講者に理解してもらいます。



感電体験装置



2 mAの電流を



40 m秒 右手に流します！



感電体験装置では、実際に短時間、微弱な電流で感電体験してもらい、眼に見えない電気の怖さを理解してもらいます。





講師がハンドルを回し、



受講者の持つ  
使い捨て手袋にソーセージを入れ



チェーンとスプロケットの間に  
巻き込ませると...



これが自分の指だったら...

回転体巻き込まれ擬似体験装置では、指の代わりにソーセージを巻き込ませ、痛みが見える教育をしています。



チェンブロック  
手指挟まれ  
擬似体験装置



吊り荷とワイヤーロープの間に  
竹の棒を入れて



巻き上げてくと  
竹の棒が「バキッ！」



竹の棒  
つぶれ・・・  
これが自分の  
指だったら・・・

手指挟まれ擬似体験装置では竹の棒での挟まれ体感で  
吊り荷に直接手を触れないことや合図の重要性を学びます。

ベルトコンベア巻き込まれ  
擬似体験装置に



竹の棒を巻き込ませトラブル体感！



ロープスイッチで緊急停止！



竹の棒は  
バラバラに…  
これが自分の  
腕だったら…

ベルトコンベア巻き込まれ擬似体験装置では竹の棒での巻き込まれ体感とロープスイッチでの緊急停止を訓練します。